

2017 年度事業報告

自 2017 年 7 月 1 日 至 2018 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」
【事業総括】

国の子育て支援政策が大きく変わってきており、2018（平成 30）年度には学習指導要領の改訂にあわせて、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が同時改訂される。当協会においては、制度はいかに変わろうとも真宗保育の子どもを観る眼は揺らぐことがないことを確認してきた。

今年度は真宗保育カリキュラムの実践と真宗保育の精神を確認する為の研修テーマ「そだつ」の展開に向けて取り組みを行った。併せて保育心理士の拡大に努めた。

【重点施策】

（1）『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

『真宗保育カリキュラム』vol.1～3 は、現場からの「真宗保育って何？」という問いから生まれたものであり、本カリキュラムは唯一の解答を示すものではないが、私たちに一つの方向性を示すものとなっている。今年度は、真宗大谷派学校連合会主催の「真宗保育研究会」においても『真宗保育カリキュラム』作成の意図と視点についての講義や大谷保育協会加盟園の実践報告などを行い、充実した研究会となった。

また、本カリキュラムの普及に向けた方策として、本部主催の研修のみならず、連区、支部、加盟園内研修においても可能なかぎりテキストとして活用すべく奨励するとともに、実践から得たノウハウをカリキュラムに反映できるよう情報収集につとめ、カリキュラムをテキストに用いた諸研修を行うための人材養成の必要性が再確認された。

② 真宗保育の学的表現の探究

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用と並行して、真宗保育の学的表現の探求に向けた土台づくりに着手するため、関係学校をはじめとした関係団体との交渉、共通認識から始め、将来的には、「真宗保育学」という学びの構築を目指し、更なる検討を行った。

(2) 研修テーマ「そだつ」の更なる展開への取り組み

① 第17回全国真宗保育研修大会の開催

現研修テーマ「そだつ」の2年間、真宗保育理念の10年間の取り組みを総括する場として、東海連区の運営により、「第17回全国真宗保育研修大会」を岐阜県高山市で開催した。

② 研修テーマ「そだつ」の継続とサブテーマの設定

現在の研修テーマ「そだつ」を今期も継続し、テーマに沿った研修内容の具体化につながるようにサブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」を設定した。

③ 「真宗保育キャリアアップ研修」(仮称)の具体化

国により今年度から予定されている「技能・経験に応じた保育士等の処遇改善」策にともない、当協会の研修が「キャリアアップ研修」に認定される可能性を調査した。

④ 「こどものうた」第2期受賞曲の周知と第3期制作準備

「そだつ」をテーマに歌詞を募集した第2期「こどものうた」事業については、受賞曲を園や寺院などの青少幼年教化の現場で活用していただけるよう周知をすすめ、あわせて、第3期の制作にむけた準備に着手した。

(3) 保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 「保育心理研究会第10回記念大会」の開催

保育心理士会員数が2,800人を超え、今年度は、保育心理士間の学びと情報共有を目的に開催されてきた保育心理研究会が第10回を迎えた。保育心理士の活動が、保育心理士会のネットワークを通じてさらに充実していくことを期し、記念大会として開催した。

② 保育心理士養成校の拡充

2018年4月より、宗派関係学校である大谷大学(教育学部教育学科幼児教育コース)において、保育心理士資格養成課程(二種)が新設された。

真宗大谷派関係学校の枠を越えて、さまざまな大学において保育心理士の養成がなされるよう、引き続き、情報の提供と学校との関係構築を推進し、それに伴う、事務作業等の負担軽減への対応も検討した。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育の実践が、実際の保育現場での共通理解において行われるよう、その表現の仕方、その課題の深め方について調査研究を行った。

またこの研究結果を頒布事業、研修事業、資格認定事業に反映し、各事業の論理的な整合性を図った。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、体系を整え、保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）と、『真宗保育カリキュラム Vol.1~3』のテキスト化への展望をはかる第一歩として、真宗大谷派学校連合会大学部会主催の「真宗保育研究会」において、『真宗保育カリキュラム』作成の意図と視点について真宗保育研究所長が講義し、共通認識を図った。
- ③ 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加し、研究会の運営と内容の探求に努めた。
期 日：2018年1月29日（月）
会 場：真宗教化センターしんらん交流館
講 師：田村晃徳氏（田尻徳風保育園園長／真宗保育研究所長）
実践報告：那須恵氏（東京支部・烏山保育園）
研究発表：智原江美氏（京都光華女子大学・同短期大学部教授）
出席者：朝倉益光、田村晃徳、高木淳善、高山耕
- ④ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を大谷保育協会内の各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師の派遣（研修部）などの推進を図った。
- ⑤ 研修テーマである「そだつ」について、仏教・真宗的視点からどのように内容を付与できるかを考察する。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチし、協会全体に何らかの形で公表できるようつとめた。

【真宗保育研究所会議】会場：真宗大谷派宗務所

2017年8月29日、2017年10月30日、2018年1月19日

(2) 臨床研究

① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施した。その土壌育成のため保育心理研究会を開催した。なお、第10回目となる2017年度においては、内容や日程を拡大して開催した。

・第10回保育心理研究会

期 日：2017年12月10日（日）

会 場：京都光華女子大学

講 師：近藤卓氏（日本ウェルネススポーツ大学教授）

テ ー マ：「自尊感情を育む～乳幼児の人の育ちと大人のかかわり～」

シンポジウム：

脇淵徹映氏（ながらこどもの森園長／保育心理士会認定委員長）

牧野桂一氏（大分子ども発達支援研究所長／保育心理士会代表）

清水陽子氏（九州産業大学教授）

富岡量秀氏（大谷大学教授）

② 保育相談及び育成指導

研究事業及び研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業及び研修事業、認定事業の成果をもとに、子どもが安心して生活できる保育内容の充実を図るための教材をホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努め、効果的な教材頒布の方法についても検討した。

また、園児の絵画を募集し、真宗本廟（東本願寺）や京都駅公益地下ギャラリーに展示し、作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し市民に子どもたちの姿を伝えた。また、保育者の質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行った。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行った。

※2018年6月末時点（2017/7/1～2018/6/30）

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫数
合掌人形 しんらんさま	550円	320円	500	300
うでわ念珠 青 子ども用	150円	124円	2000	1017
うでわ念珠 青 大人用	150円	134円	2000	1019
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150円	124円	1000	861
うでわ念珠 ピンク 大人用	150円	134円	1000	1019
白念珠	120円	105円	2000	543
念珠袋	280円	235円	2000	3048
おつとめちょう	100円	40円	7000	6979
真宗保育者手帳	500円	480円	—	36
真宗保育のカリキュラム入門	530円	240円	—	491
八女ちょうちん	180円	113円	157	0
こどもニュース7 No.12	400円	87円	1500	
しんしゅうこどもかれんだー	280円	205円	7000	
真宗保育の源流をたずねて	200円	186円	—	63
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500円	1,827円	—	334
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000円	859円	—	132
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000円	575円	—	522
こどものうた①「誕生」CD	500円	388円	—	84
こどものうた②「そだつ」CD	500円	337円	—	0
2. アイヌ民族文化と子育て	280円	200円	—	320
3. 本当に大切なこと（一楽真）	280円	105円	—	0
4. なぜ浄土なのだろうか（中川皓三郎）	240円	115円	—	187
5. いのちの教育のすすめ（田代俊孝）	240円	145円	—	685
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間（加藤守孝）	220円	134円	—	722
7. あそび（宮城顛）	220円	127円	—	787
8. 敬うとは何か（加藤祐伸）	240円	138円	—	70
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う（池田勇諦）	100円	50円	—	896
10. 真宗と保育（一楽真）	280円	105円	—	368
11. いのちありがとう（真城義麿）	240円	151円	—	993
12. 誕生（三明智彰氏）	220円	110円	—	919
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250円	160円	—	725

氏)				
14. 唯我独尊の教え—誕生の意味—(吉元信 暁氏)	240 円	175 円	—	628

(2) 新教材の発行

- ① 保育心理士養成講座等で活用できるようテキスト・教材の編集・作成を行った。
- ② 2018 年度版『しんしゅうこどもかれんだー』
 発行日：2017 年 9 月
 発行部数：7000 部
 内 容：2017 年度報恩講園児絵画展への出品作品から選ばれた絵画を用いたかれんだー
 価 格：270 円

【2019 年度版『しんしゅうこどもかれんだー』作成にかかる会議】

かれんだー掲載絵画選定：2017 年 11 月 27 日（月）

トリミング作業：2018 年 2 月 28 日（水）

色校正：2018 年 6 月 22 日（金）

【出版部会】会場：真宗大谷派宗務所

2018 年 3 月 26 日（月）

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、幼児教育及び保育関係者の資質向上を目指す。参加者の経験年数に応じ、新たな視点・新たな視野を発見することにより、子どもが安心して生活できる保育の実践に望めるよう研修内容をより深める取り組みをすすめた。

また、第17回全国真宗保育研修大会(高山)に向け、研修テーマ「そだつ」のサブテーマを提案し、さらなる周知と各支部でのテーマに基づく研修の奨励を行った。

人が生きていくうえで最も大切な「いのち」、その「いのち」の「そだち」に、どう関わっていくのかなど、研修を通して学び、すべての保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努めた。

(1) 研究会・研修会事業

① 第17回全国真宗保育研修大会

期 間：2017年7月8日(土)～9日(日)

会 場：高山市民文化会館、高山別院、高山グリーンホテル

参 加 者：357名

記念公演：日比野克彦氏（岐阜県美術館館長/東京藝術大学教授）

分 科 会：中村久子の世界（高山支部）／郡上おどり（岐阜支部）

「そだつ」を伝える（大垣支部）／運動あそび（岡崎支部）

造形表現（名古屋支部）／素敵なおもちゃ作り（三重支部）

② 第61回仏教保育大学講座事前研修会

期 日：2017年7月12日(木)

会 場：真宗大谷派宗務所

参 加 者：仏教保育大学講座指導員・生活指導員

③ 第61回仏教保育大学講座（真宗十派共催・大谷派当番）

誰しものが数年、保育を経験すれば自分の保育に対して限界やさまざまな悩みが生じる。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる。

少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深める。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2017年8月1日(火)～4日(金)

会 場：ホテル「洛兆」・大谷大学

講 師：真城義磨氏（四国教区善照寺住職/真宗大谷学園専務理事）

讃歌指導：野村佳代氏（浄土真宗本願寺派得度習礼所・教師教修所講師）

石川紀久子氏（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

参 加 者：112名

④ 第61回仏教保育大学講座反省会

期 日：2017年10月24日(火)

会 場：真宗大谷派宗務所

⑤ 第62回仏教保育大学講座企画検討会

期 日：2018年3月7日（水）

会 場：真宗大谷派宗務所

⑥ 新任研修会

新任職員が園に従事して持つ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義を知る。

対 象：1年目の保育者

期 間：2017年10月20日（金）～22日（日）

会 場：真宗大谷派宗務所・京都府立ゼミナールハウス

テ ー マ：そだつ（『真宗保育カリキュラム』の活用を踏まえて）

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長／田尻徳風保育園 園長）

参 加 者：22名

⑦ 主任・中堅保育者研修奉仕団

保育を実践していくうえで、主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を現場保育者に伝え実践していくことを確認する。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2018年6月9日（土）～11日（月）

会 場：真宗本廟境内各所・東浅井詰所

講 師：佐賀枝夏文氏（高倉幼稚園園長）

テ ー マ：そだつ（『真宗保育カリキュラム』の活用を踏まえて）

参 加 者：6名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑧ 表現研修会

日常の保育活動（身体表現、言語表現、絵画表現など）が、人間存在の表現としてどのように展開されていくか、各々の活動の理論を聞き深め、実践をとおして体感する。

対 象：保育者・保育に関心のある方

期 日：2018年5月19日（土）～20日（日）

会 場：筑紫女学園高等学校

講 師：斎藤豊治氏（九州大谷短期大学教授）

高木友裕氏（九州大谷短期大学講師）

内 容：「言語」を通して「そだつ」を考える

参 加 者：40名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑨ 本部主催の研修（新任研修、仏教保育大学講座、主任・中堅保育士研修、保育心理士、表現研修）のシラバスを作成し、保育士、教諭の経験年数に応じた研修の内容を充実させた。

【研修部会】会場：真宗大谷派宗務所

2017年9月15日（金）、2018年1月22日（月）、4月11日（水）

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」である。クラスに1、2名は発達上の問題を抱えた子どもがいるということは、どこの施設でも直面する課題であり、特別な状況ではなくなっている。また、「気になる子どもへの対応」そのものも、特別なことではなく、保育の基本・原点を学ぶことになる。

真宗保育の理念を踏まえ、保育心理士としての学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に務めた。

国や地方自治体との連携に資する保育心理士を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指した。

2013年度から2種資格の有効期間を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進するとともに年会費徴収の向上を目指してきた。

会員数増加に伴い、各講座における講義内容にバラツキがでないようテキスト刊行に向けた調査研究を行った。特に保育人間学1・2においては、『真宗保育カリキュラム』を積極的に活用する方針の徹底を図った。

【保育心理士認定者数】 一種：2,355名、二種：522名（2018年6月末現在）

【保育心理士養成課程（一種）設置校】 同朋大学大学院

【保育心理士養成課程（二種）設置校】 九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、名古屋経営短期大学、飯田女子短期大学、子どもと保育研究所「ぷろほ」、東亜大学、大谷大学、九州産業大学

(1) 保育心理士養成講座

【本部主催分】

- ① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館・真宗大谷派宗務所】
第17期保育心理士養成講座《第1～4、修了式日程》
期 間 2017年8月23日（水）～27日（日）
- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】
《第1・2日程》 2017年7月1日（土）～2日（日）
《第3日程》 2017年11月11日（土）
《第4・修了式日程》 2018年1月27日（土）～28日（日）
- ③ 東京会場【会場：親鸞仏教センター（東京都文京区）】
《第3・4日程》 2017年9月9日（土）～10日（日）
《修了式日程》 2017年11月18日（土）※フォローアップ講座同時開催
《第1・2日程》 2018年6月23日（土）～24日（日）
- ④ 名古屋会場【会場：同朋大学】
《第3日程》2017年7月22日（土）《第4日程》2017年9月2日（土）
《第5日程》2017年10月28日（土）《修了式日程》2017年11月25日（土）
※修了式日程終了後、フォローアップ講座開催

(2) 保育心理士フォローアップ講座

保育心理士資格は5年間の有期資格であり、その資格更新のためにフォローアップ講座を開催した。

期 日：2017年11月18日（土）【会場：親鸞仏教センター】

2017年11月25日（土）【会場：同朋大学】

講 師：牧野桂一氏（保育心理士会代表）

(3) 連区、支部研修会での単位取得講座の開催

「保育心理士養成講座」を全国規模で展開するため、連区、支部とも共催して行った。

【連区・支部研修会】

連区・支部	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
三条	2018/8/5	
高田		2017/12/16
岐阜		2018/2/24
名古屋		2018/2/24
山陽	2017/10/28・2018/1/13	

【エリア】

エリア	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
札幌	2017/8/5・8/6・10/28・10/29・12/2	2017/12/2
仙台	2017/9/10・10/1・10/22・11/12・11/26・2018/1/14	2017/6/10
栃木		2017/9/15・10/27・11/22・12/28
岐阜	2017/5/13・5/20・6/10・6/24・11/4・11/18・12/9	2017/5/13・5/20・6/10・6/24・9/9・11/4・2018/2/3・2/24
愛知		2017/12/6・12/12
大阪		2017/10/20
兵庫	2018/2/10	
滋賀		2018/1/28
広島	2017/11/2	
香川	2018/1/14・1/28・2/25	
大分	2017/8/20	2017/9/5・12/16・12/19
福岡	2017/6/24・7/4・7/15・8/19・9/9・11/11・2018/1/20・2/24	2017/8/6・8/12・9/12・12/9・12/10
長崎	2017/7/2・2018/2/3・2/4・4/15	2017/8/6・8/12・9/12・12/9・12/10
熊本	2017/9/9・9/10・9/30・10/1・10/28・10/29	2017/10/29
宮崎	2017/10/16・11/20・12/7・2018/1/16・2/28・3/7	2017/12/7
鹿児島	2017/11/6・2018/2/18・2018/5/27	2017/8/24・11/19

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために、賛助会
員を募った。

保育心理士会会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人）	3,000円	加盟園の設置者	協会指定の講 義で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会 加盟園）	なし		申請で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会 未加 盟園）	3,000円		申請で入会可

(5) 保育心理士関係法規の整理

「大谷保育協会 保育心理士規程」「保育心理士会内規」「保育心理士資格の
取得に関する規程」で規定されている内容について、必要な作業を行った。

(6) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

2017年9月28日（木）、12月9日（土）

2018年2月13日（火）、3月7日（水）

【保育心理士会集会】第10回保育心理研究会と併催

期日：2017年12月10日（日）

会場：京都光華女子大学

【保育心理士講師集会】

2017年8月26日（土）

【保育心理士会幹事会】

2017年7月6日（木）、12月9日（土）

【エリアマネージャー会議】

会場：真宗大谷派宗務所

期日：2017年12月9日（土）

※第10回保育心理研究会前日に開催

② 保育心理士（2種）養成校との協議会

今年度は開催なし。

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一環を荷うべく、当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

(1) 機関紙等の頒布

- ① 月刊誌「真宗保育」第 419～430 号を頒布した。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。
- ② 「こどもニュース 7」第 12 号を発行した。
発行日：2017 年 7 月
テーマ：お盆

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

ページが更新されていることが一目で分かり、新着情報にもアクセスしやすくなるようなトップページのリニューアルを行った。

また、内容面については、引き続きリアルタイムでの情報発信に努めるほか、保育協会の組織と活動をより知ってもらうための更なるコンテンツの充実に向けた掲載内容の点検を行った。

また、将来的に必要となってくるホームページのスマートフォン対応については、必要に応じて専門家の助言を仰ぎながら今後検討した。

(3) 園児絵画展

園児の絵画を公募し、駅ギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただくとともに、情操教育の基礎となる仏教（真宗）精神に触れていただく。

期 間：2017 年 11 月 14 日（火）～11 月 28 日（火）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
および京都駅公益地下ストリートギャラリー

出 展：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・こども園等の園児

(4) “こどものうた” 事業

第 3 期は、第 1 期・第 2 期と行ってきた歌詞の公募を今期は行わず、中川ひろたか氏に作詞・作曲を依頼した。なお曲数を 3 曲から 1 曲に変更し、楽曲配信ストアを通して販売するため、作業を進めた。

(5) 九州北部豪雨への支援対応

2017 年 7 月 5 日から 6 日にかけて福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨をうけ、大分県日田市内の幼保施設（5 カ園）に支援金として 25 万円を手交した。

(6) リーフレット等の啓発誌頒布

保育心理士資格の認知度向上と資格取得者の増加を図るため、全国の保育施設（約 9,000 件）にハガキによる保育心理士養成講座の受式奨励を図るとともに、継続して保育心理士に関するリーフレットを加盟園及び行政、全国の教諭・保育士養成校に頒布し、「保育心理士」の名称や役割、機能などの周

知徹底を図った。

(7) その他啓発事業

① 「真宗本廟報恩講」及び「真宗本廟春の法要」期間に各種教材やリーフレットを真宗本廟参拝者等に頒布するよう検討を進めた。

② 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。(現在、8ヵ園の加盟園が参加している)

【広報部会】会場：真宗大谷派宗務所

2017年11月15日(水)、2018年4月5日(木)、2018年6月20日(水)

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努めた。加盟園交流研修会において、全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。

(1) 人材発掘のための取り組み

① 加盟園交流研修会での周知

設置者・園長に加え、後継者も参加する加盟園交流研修会において、協会の活動内容等について周知すべく情報交換を行った。

② 人材プール機構の設置

各部の事業内容により協会各支部に引き続き依頼をした。

(2) 加盟園交流 研修会

協会やそれぞれの園、地域を取り巻く時代環境の情報を交換した。また、講演、園視察などを通して真宗保育理念を確認し共有した。なお、関信三先生の功績に学ぶ第一歩として、関先生の墓参を行った。

期 間：2018年2月13日（火）～14日（水）

会 場：①親鸞仏教センター

②文京区立お茶の水女子大学こども園

テーマ：教育要領、保育指針等の改訂の流れの中で保育者に求められること

講 師：①遠藤利彦氏（東京大学大学院教育学研究科教授）

②宮里暁美氏

（お茶の水女子大学こども園園長／人間発達教育科学研究所教授）

参加者：31名

(3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、こども園加盟園の増加促進を図った。

(4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

(5) 「真宗教化センターしんらん交流館」との連携

宗派の青少年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

(6) 会報「大谷保育」の発行

協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載し、会報「大谷保育」を毎月1回全加盟園に配布した。

(7) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園より報告を受け感謝状を送った。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

(1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムの活用を図った。

(2) 協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。また、協会のICTインフラの維持運営を行った。また、協会保有データの保全と機密性を維持するとともに適時改善した。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、幼稚園教諭等施設職員不足に対応するために、当協会の全国組織の特徴を生かし、Uターン就職及び真宗保育を望む学生に採用情報を提供する仕組みを試行した。

(4) 協会をPRするパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広くPRするため、「公益社団法人大谷保育協会要覧（仮称）」（パンフレット）の作成を行うべく検討を始めた。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し、加盟園情報の収集、管理を行い、定期的な加盟園名簿の改訂を行するための作業に向けた検討を始めた。

(6) 常務理事会に関する事項

期日：2017年10月4日（水）、12月21日（木）、2018年2月27日（火）

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第13回（事業報告・決算承認）

期日：2017年8月30日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第14回（次年度予算・事業計画）

期日：2018年2月27日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

② 第6回総会

期日：2017年9月14日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

(8) 諸会議に関する事項

① 正副部所長会

期日：2018年4月17日（火）

② 総務部会

期日：2017年8月18日（金）、11月14日（金）、

2018年2月22日（木）、4月11日（水）、5月8日（火）

事業報告の附属明細書

該当事項はありません。